

グループ「中国だい好き」

ホーム 基本情報 イベント 活動紹介 問い合わせ

「中国だい好き」・ニュース -2011年8月号-

中国だい好き・ニュース

-2011年8月号- 運営委員会 2011.8.27

東日本大震災・義捐金、「はまなす」学園へ

8月14日、「中国だい好き」の会員である東海林さんが、お盆での帰省を利用して岩手県山田町の社会福祉法人親和会を訪ね、義捐金と内田会長の挨拶状を直接山崎理事長に届けてくださいました。以下は東海林さんがまとめてくださったレポートです。

●東日本大震災・義援金 お届けの報告

届け先 岩手県山田町 社会福祉法人・親和会
理事長 山崎幸男様 事務局長 昆 正倫様
届け日 2011年8月14日
金額 ¥100,000円(内田会長の挨拶状と共に) 領収書あり

会員皆様からの心温まる義援金を滞りなくお渡しできました。
当日は連日の34度前後の猛暑、地元でもあまり経験したことのないとの話。

理事長多忙のところ、私の都合に合わせて対応していただき、趣旨大事に有意義に便
いますと感謝され、ご芳志に賛同された会長以下皆さん方によろしくとのことです。

「はまなす学園」は震災後避難所を転々(3回)とする生活を余儀なくされました、
内陸部に一部毎二人で四十人が共同生活を送るグループホーム型施設二棟が七月下旬



上 四十人が共同生活を送っている新施設とはまなす哥。奥
左はこの車に乗って高台に避難した。
右 山崎理事長、東海林さん、花澤昇男員(向かってわから)

に完成しておられた様子です。横には「海上にいる人達もこれまで通りの暮らしの方を送
りたい」との想いが込められています。
内田会長は「今までお世話になりました。私は山崎理事長に直接お話を伺いました」とお
話を語られておりました。
私は「お世話になりました」とお話を語りました。親和会の運営者としての立場では山崎
理事長の立派な方だと思います。お話を聞きながらお話を聞きました。お話を聞く中で、
私が「東日本大震災、各種被災型災害事業団、ソーシャルマーケティング、起業家センター
などの活動を通じて、多くの被災者の方々の支援を行なってきました。その活動が評議會で評議
されました。そこで、田代先生が運営する「はまなす学園」の内田会長の活動を評議會で評議
されました。そして、東日本大震災で被災した方々の支援、その内田会長の活動が評議會で評議
されました。これが私の社長の活動でした。田代先生が運営する「はまなす学園」の内田会長の活動
が評議會で評議されたのです。田代先生が運営する「はまなす学園」の内田会長の活動が評議會で
評議されたのです。田代先生が運営する「はまなす学園」の内田会長の活動が評議會で評議
されました。田代先生が運営する「はまなす学園」の内田会長の活動が評議會で評議されました。
それから社会貢献のモデルとなる施設が完成しました。今まで評議會で評議されました。

平成23年8月14日 東海林 実

●内田会長のおひさつ

内田会長へ、真摯
感謝 真理 仁志

お詫び

お詫びの件、東北震災支援金にて二十万ほど贈られました。「グループ「中国だい好き」」
という名前からお問い合わせ頂きました。東北震災対策として、私たち会員は震災
被災地に寄付金を贈りました。その寄付金が内田会長の手元に届いたのです。
さうやうの立場で内田会長はお詫びします。「はまなす学園」の内田会長に贈りて
たござれど、お詫びをもらわせていただきます。「はまなす学園」の内田会長の贈り
が運営者の手で一矢となって詰め込まれていらっしゃることに御迷惑をおかけしま
した。お詫び申し訳ございません。

東海林

東北震災対策「グループ「中国だい好き」」

内田 仁志

内田仁志 010-6011 東北震災対策会員会事務局
E-mail: <http://easternchina.edvnet.jp>